

0.1 秒差で尾崎が日本一の栄冠を手に入れた。ノンストップのスピードレースが繰り広げられた。

2015年10月31日(土) 長野県松本市
全日本スプリントオリエンテーリング大会



男子優勝・尾崎弘和
ドーム内に設置された最終コントロール

大激戦の男子

結果を見れば説明は要るまい。上位3名が3秒以内の大激戦。特に1位と2位の差はわずか0.1秒。まさにスプリントレースという展開となった。この接戦を制したのは尾崎弘和だ。

4分/kmを切る高速レース

トレインは信州まつもと空港横に広がる大規模公園。平地林と芝生広場が広がる。男子コースは距離が3.4kmだが登距離は20m。アップ率1%以下。手入れが行き届いた公園であり、ルートを選べばスピードを下げる要因はほぼ無い。

今回はパンチングシステムとしてSI社のタッチフリーシステムが使用された。コントロールで立ち止まる必要が全くない。

レース高速化のためのあらゆる条件が整っていた。こうして陸上トラック競技並のスリリングなレースは展開された。



会場となったやまびこドーム。
中はソフトボールができるほど広い。

圧勝の皆川

大激戦だった男子に比べ、女子は皆川の圧勝だった。頭ひとつ飛びぬけた巡航速度にほぼノーミスとも言えるレース運び。すべてが完璧だったように見える。3週間後に開催された全日本ミドルでも皆川は優勝し、今期絶好調だ。



女子優勝・皆川美紀子
紅葉の信州スカイパークを駆け抜ける

女子決勝 - 2.7km ↑15m

1 皆川美紀子	0:13:02.2	みちの会
2 中村菜葉	0:14:19.6	早大 OC
3 加納尚子	0:14:22.4	朱雀 OK
4 小野澤清楓	0:15:00.0	群馬大学
5 関谷麻里絵	0:15:05.6	朱雀 OK
6 渡辺円香	0:15:30.1	ES 関東 C

男子決勝 - 3.4km ↑20m

1 尾崎弘和	0:13:30.3	トータス
2 真保陽一	0:13:30.4	B&B
3 谷川友太	0:13:32.9	OLC ルーパー
4 松下睦生	0:13:48.0	京都 OLC
5 長縄知晃	0:13:58.9	静岡 OLC
6 小泉成行	0:14:01.8	O-Support

スタジアム化されたレース

今回の会場は信州スカイパークのやまびこドームを借り切って行った。屋内でソフトボールができるほど広い施設だ。今回の決勝レースでは、中間スペクテーターズがこの建物の中を通過し、最終コントロールも建物の中に設置された。

会場ドームの中では、スクリーンに選手の通過やフィニッシュが映し出され、フィニッシュした選手のインタビューが行われた。

「スプリント競技はこうあって欲しい」という、若者中心の実行委員会の強い思いが感じられる運営だった。

誘致した全日本スプリント大会

筆者・木村は、この10月31日にクラブ7人リレーの前日イベントを開催しよう企画し、やまびこドームを1年前に予約しておいた。

その後、全日本スプリント大会の開催を模索していたトータスを中心とした若手メンバーがいることを知り、この会場とトレインの使った開催を誘致したところそれに応じてくれた。誘致と言っても場所と関係機関との橋渡しだけで、その後は実行委員会が独自に立派な大会を行ってくれた。

よく走っている公園でこのような立派なイベントを行っていただき、多くの人に松本に来ていただいたことに感謝したい。

(木村佳司)